■人口と高齢者数の割合

人口

1435万人

324.5万人

13億人

模施設の役割プ

中国

上海市

大連市



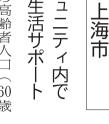
在宅生活サポ コミュニティ内で

10日~14日、上海・大連市の高齢者施設視察ツアーを開催。 入、医療介護の融合を進めている。高齢者住宅新聞社は先月

中国政府は高齢者施策として在宅サービスや外資企業の参

現地の高齢者施設の現状を報告する。

達し、総人口に占める割合は 以上) は2億1200万人に 中国の高齢者人口(60歳



15 5 % 8%と全国平均を大きく上回 われている。上海に限ってみ の整備を急いでいる。 本以上に早いスピードで高齢 口調整してきた中国では、日 る。36年間一人っ子政策で人 てみると、高齢者人口は28・ 在の倍近くまで増加すると言 い進んでおり、高齢者福祉 2050年には現

高齢の割合

15.5%

28.8%

16.9%

模施設 (最低定員10名) だ。 単位でサービス提供する小規 複合的なサービスを提供。 のほか、訪問介護や配食など 小規模施設では入居サービス のが、コミュニティ(社区) える上で大きな担い手になる 宅生活を推進。在宅生活を支 護7%、施設介護3%)」を 目標に掲げ、日本と同様、在 策として 「9073政策 (自 じた在宅生活90%、在宅介 上海では、高齢者福祉の施

と平均水準より低めの設定

5000円/1元=約15円

ため、月々の入居費用は食費 たベッドが並ぶ。公設民営の

産会社が運営する高級有料老 るのが、アメリカの大手不動 いう高い入居率を維持してい

/ホーム「StarCast e」だ。2013年にオー

ではなく、一床ずつ仕切られ

含めると4300元(約6月

だ。同施設の管理者は「近年

者189名、要介護者30名。

ノンした施設で、定員は自立

規模施設のようなサービス

60平米の場合、1万1000

月々の利用料は部屋の広さが

元~ (約17万円)、130平

1万900元 (約

内にできた初めての公設民営 は昨年1月にオープン。団地 名の入居サービスに加え、4 名のショートステイ、訪問介 苑長者照護の家」では定員14 ス内容は多岐に渡る。同施設 福祉用具レンタルなどサービ 護や配食、介護者向けの講座、 今回訪問した「浦興社区福

> の門戸を拡げている。外資企 供給を進めるため、外資企業

中国政府は、高齢者施設の

護部屋は利用権契約となって

自立部屋は賃貸借契約で介

同一法人で運営 病院と介護施設

外資系施設参入 施設の整備急ぐ

人居金が必要だ。

ている。入居者獲得に苦しむ が運営する高齢者施設も増え により、アメリカなどの企業 業参入の規制を緩和したこと

る。同社は2018年に4棟 の健康管理や医療体制を整え 師・薬剤師が常駐し、入居者

▲小規模施設「浦興社区福苑長者照護の家」





ーe」の外観と居



▲「大連中山桂林養護院」。薬局を併設





▲半年で満床を実現する紅日グループが運営する老人 ホーム(上海)

きな活動に参加し時間を過ごす。上海ではこの「高齢者天

がシニア世代の集いの場となっているようだ。

海市にある魯迅公園は早朝から、地元の高齢者で賑わ

公園に高齢者集う

散歩や太極拳、ダンス、体操、カラオケなど自分の好

う。ト



▲大連市の介護施設「大連沙河口区南沙高齢者の家」。自立者と要介護者を受け入れている

ると高齢者施設への入居を検 ほとんどですが、以前に比べ います。在宅生活を望む人が 的に展開を進めていくという。 を上海周辺で開設する予定 す」(王叶波マネージャー)。 討する人が増えたと感じま 全体の意識も徐々に変化して で、中国において今後も積極 目となる900床規模の施設 「高齢者福祉に対する社会

大連市

29万円)~。入居時には5万

6万元(約100万円)

0

中には大規模施設から転居し を求める人が増えています。

てきた入居者もいます」と話

クを併設したり地域の総合病 系施設、また、政府が推奨し 院と連携を図ったりするなど 設」が増えている。クリニッ ている「医療・介護の融合施 して医療体制を強化し、 大連でも小規模施設や外資

ることも可能だ。施設には医 合は要介護者向けの居室に移 おり、介護が必要になった場



3つの規模に分けられる。3 中国の病院は3級~1級の 者の受入れに対応する。





ノスの基本を習う



やし、日本と同様、「かかり ▶アスファルトで水を使った書道を楽しむ が強いため、クリニックを増

まずは大病院へ」という風潮 などの大規模病院、2級が区級が大学付属病院や市立病院 ック。中国では「何かあればレベルの地域密着型のクリニ 一級がコミュニティ(社区)レベルの中規模病院、そして 中国では「何かあれば という。 えだ。そのため、1級のクリ を運営しているケースもある り、同一法人あるいはグルー ニックのみ民営化されてお つけ医」の普及を進めたい考 プでクリニックと高齢者施設 大連市の中心街にある「大

クリニック併設も 医療介護の融合

連市民 0名 認知症だという。 もなっている。3階建で1階 他病院からの患者の受け皿に としており、外来患者に加え、介護の一体ケアをコンセプト が入居施設。入居者の4割が が外来クリニック、2~3階 もその一つだ。医療・ 楽養老院」(定員12 一体ケアをコンセプト

では約200ある高齢者施設 同施設の責任者は「大連市 ことは一石二鳥だ」とコメン という2つの役割を果たせる 速するだろう。当施設のよう 介護の一体ケアへの流れが加 のうち、医療介護の一体ケア に、1つの拠点で医療と介護

今後中国ではますます医療・ 療体制を求める傾向にあり、 はないか。最近は入居者が医 を実施しているのはわずかで

意義な視察となりました。

みよの台薬局

グループ

池田裕紀取締役

クリニックも併設されてお

複合的にサービスを提供

連中山桂林養護院」(定員1 〈16面からつづく〉 士が常駐。薬局に加え歯科 要介護者の割合が高い「大 5名) も医師・看護師・介

以上のように、

中国では

る上では、ハード・ソフト共

ープの陳琦代表が「施設を作

政府が進める政策につい

海という大都市とその

い付いていないのが現状で っており、そのスピードに追 確保といった課題が障壁とな

に、レベルの高い日本の介護

施設運営し、開設後半年間で

まっている。 高齢者施設を7 発表され、ますます関心が高 地域で試験的に施行されると

満床を実現している紅日グル

経営企画室 有賀義昭室長

業の可能性も広がっている。

口を揃える。まだまだ日系企

様々な視点から現状把握

視察を通して、様々なタイプの高齢者施設を見学することが できました。大連の高齢者施設の質は、上海と比較するとその レベルにまだまだ及びませんが、入居者の様子は明るく、その 環境に満足しているような様子が印象的でした。また、上海の 公園で自立度の高い高齢者が、太極拳やダンスなど、自分の好 きなレクリエーションに参加している様子も見学することがで きました。中国の高齢者介護の現状を、地域の違いや自立度の 違いといった面からも垣間見ることができました。

医療制度の新たな発見 大連のみの参加でしたが、「医療と介護の融合」を強く感じ ました。中国では医療法人の制度が無く、総合病院などの大型 病院は国営ですが、社区(地域)のクリニックは民間が認可を受け て開設出来るということ、そして同一法人が医療と介護を一括

して運営している事例があることは非常に参考になりました。

中国の視察ツアーに参加するたびに新たな発見があり、大変有

アメリカ、北欧などの先進事例を貪欲に取り入れ、どんどん改善 していくパワーを感じます。発展するスピードは他国より早いで しょう。北京在住の日本人建築家の友人は「中国でも差別化した い老人ホームからオファーを沢山もらって、施主が日本に見学に きています」と言っています。数年後には、日本が参考にするよ うな施設や仕組みが誕生しているかもしれない、と感じました。



磯谷香代子

医療法人社団 高輪会事業部

現地スタッフの熱意伝わる

日本より20年遅れていると言われる中国の介護事情。介護保 険制度がない、居宅介護の未発達、介護の理念・技術が進んで いない、介護スタッフ不足といった問題を抱えていることが改 めてわかりました。施設関係者は、様々な工夫を凝らし入居者 の満足度をあげようと日々奮闘しています。そして真摯に日本 に学ぼうとしています。こうした関係者の熱意や街全体の活気 最近の中国の発展を納得させ、いずれ20年の遅れを取戻し くものと感じました。

教育ビジネスの可能性実感

中国は、ハイペースで少子高齢化が進んでおり高齢者介護のニ -ズも急速に高まっています。そんな現状を自分の目で確かめる べく、ツアーに初参加しました。視察を通して、中国の福祉が求 めているものは、認知症ケア・質の高い介護技術などに関する教 育であると感じました。教育ビジネスとして中国への進出を考え ていましたが、その方向に大きく前進することができました。介 護や医療など様々な分野で活躍する参加者との交流も非常に刺激 を受けました。



Kamille 菊池由香 代表取締役

入居施設としてのベッド数は14床と小規模ですが、この施設が果 たす役割は入居サービスだけではありません。ここを拠点に、近 隣住民への在宅介護支援なども行っており、非常に地域に密着し たものでした。中国の高齢者人口に対してこのタイプの施設が一 体いくつ必要なのだろうかと考えてしまいますが、今後このモデ ルがどの程度普及していくのか注目したいと思います。

いよいよビジネスチャンス

民間施設も公立施設も、日本の介護に学んだレイアウトが採用 されているところが多いですが、非常に速いスピードで日本の介 護ノウハウを取り入れており、またアメリカ資本の施設も成功事 例が出てきています。海外の優れた介護ノウハウを積極的に採り 入れながら、介護保険制度も実現に向けて進んでいることから、 中国の介護マーケットはいよいよビジネスとして取り組めるステ ージに入ってきたと感じました。



ファイナンシャル アドバイザリー 細見真司 アドバイザー

山崎摩耶 元衆議院議員 (旭川大学特任教授)

日本のノウハウで貢献

中国の高齢化率のスピードは速く、高齢人口の規模も大きい。 政府も待ったなしの「高齢者医療介護」に政策のウイングを広げ ています。その現状を上海・大連の両市で、公立、公設民営、大 資本によるハイエンドなもの、また健康な高齢者から要介護や終 末期対応までの各レベルの施設と、在宅のニューモデルなどを視 察。わが国の高齢者ケアと事業マネジメントのノウハウ、看護・ 介護の人材教育を含め、貢献とビジネスチャンスの課題も浮き彫 りになった中国視察でした。

※50音順

材育成で連携模索

のように語る。 う業界団体、大連市社会福祉 協会の董会長は、中国および 大連の高齢者施策について次 1.護スタッフの研修などを行 介護サービスの評価設定や 携を図りながら整備を進めた ることは非常に難しいことで いと思う一方、財源や人材の て政府が進める施策に対応す

大連市でも中央政府と連

一般市民の考え方につい

月より介護保険制度が一部の

社会福祉協会 董会長

なるものであるため、この? 医療と介護はまったく異 医療・介護の融合につい

つを融合させることが必ず

す。また介護事業者側にとっ サービス利用者は少数派で うな地方都市の市民は「介護 という概念がまだまだ薄く、 て悩みの種となっているの していること。国が提供する 消費者の購買意欲が低下 上海と比べると大連のよ

当協会では特に介護の人材育 を踏まえた上でビジネスモデ する際には、先にあげた課題 すが、地方都市でビジネスを ルを作ってもらいたいです。 る日系企業はいくつかありま いかと模索しています。 大連でも事業展開してい 日系企業について。

入れ具合や介護現場の実態いにより、介護政策の力の

年から実施すると発表しま

上海市は中国のトッ

は独自の介護保険制度を来

期間中に、上海市

に格差があると実感しまし

較すると、経済発展の度合 海・大連の2つの都市を比

が高く、介護という理念を た。上海では高齢者人口率

らもますます全国への発信

しっかり持っていること、

りますが、それは大企業のケ とっていくかに焦点をあてる 設と病院がどのような連携を 実的ではありません。医療 法人がクリニックと高齢者施 介護の融合というよりも、施 設を運営しているケースもあ -スが多く、中小企業では現

の地方都市が足並みを揃え

べきだと考えています。

動に参加できるため、わざわ の導入は欠かせないと思いま するためにも、介護保険制度 ざお金を払ってまで民間サー サービスを届けられるように いのです。必要な人に必要な ビスを利用しようとは思わな レクリエーションのような活

組む都市です。しかし、上高齢者政策に積極的に取り

いことが見えてきます。

大連は地方都市の中では



日中福祉 プランニング

王青代表

素を考慮しなければいけな 齢者施策・介護レベルが上 の経済力があることで、高そして政策を実現するため は がっています。また、マー その地域の総合的な要 トとして捉える時に